



# よみがえる グリーンライン

～カルテで不法投棄に立ち向かう～



グリーンラインを愛する会  
理事長 丸山 孝志

「不法投棄のゴミ問題」に関する地域カルテを作ってみました。前回ご紹介しましたがその大まかな内容は以下の通りです。

## 1、問題の分野

ゴミの不法投棄

## 2、何が問題か？

- 1、不法投棄のゴミの回収が進まない
- 2、不法投棄が後を絶たない

## 3、考えられる原因

A、ゴミの回収が進まない

- 1、回収に参加してくれる人手が足りない
- 2、回収したごみの搬入に関して行政の対応が非協力的
- 3、一部のゴミは人力での回収が困難

B、不法投棄が後を絶たない

- 1、捨てやすい(周りにたくさんある)

そしてそれに沿って活動してみました。今回はそのご報告です。

まず「何が問題か？」の一番目の「不法投棄のゴミの回収が進まない」と言う問題の考えられる主な原因は「回収に参加してくれる人手が足りない」「回収したごみの搬入に関して行政の対応が非協力的」「一部のゴミは人力での回収が困難」という事でした。

最後の項目「一部のゴミは人力での回収が困難」という原因の解決にはクレーンなどの機械を使う必要があるため、資金などの面ですぐには解決できそうになかったため、当面これは保留としました。

とりあえず人力で何とかなるゴミだけを回収する事にしました。

あとの2項目の内「回収に参加してくれる人手が足りない」事を解決するためにいくつかの行動プランを考えました。

ひとつは「福山グリーンラインにこれだけの不法投棄があって、それを回収して環境を改善しようと活動しているグループがある。」という事をもっと多くの人

に知ってもらう事でした。今までは主に新聞で報道してもらっていましたが、新聞をあまり見ない人たちにも知ってもらうためにはテレビやラジオなど多様な媒体で報道してもらう必要があると考えました。

そのためにテレビ局・ラジオ局への取材依頼をする必要がありましたが、当時はまだメールアドレスなどが公開されていない局も多く、電話やファックスでの取材依頼を行いました。最初は決して好意的な反応ばかりではありませんでした。中には「ファックスでダラダラ送って来られても迷惑なので、郵送で送って来てくれ。」と言われた局もありました。

なかなか取材に応じてくれる局が無く、ちょっとくじけそうになっていた時ある新聞記者がアドバイスをくれました。

それは「どんな情報なら担当者が興味を示しやすいか？」という事でした。

「丸山さん、僕の所にだって毎日沢山の人が団体から取材の依頼は来ます。とても全部は対応しきれないです。ざっと目を通すその情報の中からどうやって取材しようという情報を見つけ出すかと言うのをお教えます。」そう言ってくれました。

企業でも団体でも個人でも「もっとみんなに知って欲しい」という事は沢山有ると思います。

そんな訳で次回以降は数回に分けて「マスコミはどんな情報に興味を示すか？」についてお話しします。



不法投棄回収のマスコミ取材